

教科・種目名 技術・家庭（家庭分野）

採択基準	基本観点	発行者名
		2 東書
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	(1) 全体としての特徴や創意工夫	<p>ガイダンスのページが12ページあり、小学校家庭科の学習内容をページの下に示し、中学校の3年間の学習内容の見通しを持たせている。</p> <p>学習の進め方として「問題を解決する道筋」を示し、課題と実践を行いながら自分と家族と地域の生活のかかわりを見つめることを示している。</p> <p>伝統文化にかかわる学習が16項目あり、衣食住の日本の文化と、江戸時代の循環型社会を取り上げている。</p> <p>4つの内容をB、C、A、Dの順で配列しており、BとCの内容が多い。Cは衣生活を先に取り上げている。</p> <p>他の章や内容との関連を「リンク」で示し、31事例ある。</p> <p>安全、衛生、マナー、防災、環境、消費者等のマークを使っている。</p>
	別表1	
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮	<p>体験的な学習事例を90事例、そのうち実習題材を50例（遊び道具の製作：4例、調理実習：33例、布を用いた小物の製作：13例）記載している。</p> <p>活動手順の表示が62事例あり、特に調理実習の手順の表示が多く、組み合わせる料理の例や、献立で調理する場合の手順も示している。</p> <p>実践に関するポイントはBとCに多く、手順の場でポイントを示している。</p>
	別表2	
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	<p>生活の課題を発見するための学習活動は37事例あり、そのうちやってみる・考えるものが31事例ある。</p> <p>課題解決的な教材を6事例紹介しており、4編の学習の最後に配置している。まとめと発表の仕方について多様な方法を示している。</p> <p>言語活動の事例は29あり、そのうち話し合い活動が6事例ある。</p> <p>太字で書かれた用語が123個ある。</p> <p>用語解説は104個あり、用語解説だけのページがある。</p>
	別表3	

4つの内容：A家族・家庭と子どもの成長

B食生活と自立

C快適な衣服と住まい

D身近な消費生活と環境

発行者名	
6 教図	9 開隆堂
<p>ガイダンスのページが9ページあり、小学校家庭科の振り返りと、中学校での家庭分野の学習への思いを書く欄を設けている。</p> <p>巻頭に「年中行事とわたしたちの暮らし」「人生のお祝い事」を掲載し、家族や地域とのつながり、人生の流れ、日本の文化に気づくように工夫している。</p> <p>伝統文化にかかわる学習が15項目あり、地域の食べ物や和の器、和服、日本の伝統的な住まいなどを取り上げている。</p> <p>4つの内容の分量を大差なく取り上げ、A、B、C、Dの順に配列している。Cは住生活を先に取り上げ、続く衣生活と布を用いた小物の製作の関連を図るようにしている。</p> <p>他の章や内容との関連を「参考」「⇒」「注」で示し、11事例ある。</p> <p>安全、環境のマークを使っている。</p>	<p>ガイダンスのページが10ページあり、小学校家庭科の学習を振り返り、「自立・共生社会・持続可能な社会」につなげて学習することを示している。</p> <p>生活を見つめ、実践し、交流し、生活に生かして振り返るといった学習の進め方を示している。</p> <p>伝統文化に関わる学習が22項目あり、衣食住の文化の他、伝統の道具類や織物を巻末の見開きページに写真で取り上げている。</p> <p>4つの内容をA、B、C、Dの順に配列しており、Bがやや多い。Cは住生活を先に取り上げ、続く衣生活と布を用いた小物の製作との関連を図るようにしている。</p> <p>他の章や内容と関連を「リンク」で示し、29事例ある。</p> <p>安全、衛生、防災、消費・環境のマークを使っている。</p>
<p>体験的な学習事例を72事例、そのうち実習題材を34例（遊び道具の製作：6例、調理実習：22例、布を用いた小物の製作：6例）記載している。</p> <p>活動手順の表示が49事例あり、調理実習例を主食・主菜・副菜に分けて取り上げ、付け合わせの例も示している。</p> <p>実践に関するポイントはBに多く、調理手順の最後にポイントを示している。</p>	<p>体験的な学習事例を67事例、そのうち実習題材を35例（遊び道具の製作：6例、調理実習：23例、布を用いた小物の製作：6例）記載している。</p> <p>活動手順の表示が46事例あり、調理実習については、組み合わせ調理の例と手順も示している。</p> <p>実践に関するポイントはBに多く、調理実習の手順ごとにポイントをまとめて示している。</p>
<p>生活の課題を発見するための学習活動は57事例あり、そのうちまとめる・考えるものが53事例ある。</p> <p>課題解決的な教材を6事例紹介しており、各編の後に配置している。</p> <p>言語活動の事例は20あり、そのうち話し合い活動が10事例ある。</p> <p>太字で書かれた用語が217個あり、キーワードチェックで確認できるようにしている。</p> <p>用語解説は39個ある。</p>	<p>生活の課題を発見するための学習活動は33事例あり、そのうち「考えよう」が17事例ある。</p> <p>課題解決的な教材を28事例紹介しており、4編の学習の最後に配置している。</p> <p>言語活動の事例は26あり、そのうち話し合い活動が22事例ある。</p> <p>太字で書かれた用語が157個ある。</p> <p>用語解説は22個ある。</p>

教科・種目名 技術・家庭（家庭分野）

採択基準	基本観点	発行者名
		2 東書
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(3) 生徒が自主的に学習に取り組むことができる配慮 別表4	教科書を見て自宅で体験・実践できる参考実習例が15事例32種類あり、そのうち調理実習に関するものが21種類ある。 「浴衣の着方」「和服のたたみ方」を紹介している。 自分で実践できる発展的な調べ学習が11事例ある。
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い 別表5	発展の印のついているものが、Aに2、Bに1、Cに2、Dに2と計7事例ある。
	(5) 他の教科等との関連 別表6	国語、社会、数学、理科、美術、保健体育、技術分野との関連について、「他教科」マークをつけて示している。巻末に技術分野の学習を写真で掲載し、家庭分野とのかかわりを紹介している。 道徳との関連については「他教科」マークをつけて示し、11の学習内容を明記している。
3 使用上の便宜が工夫されていること。	(1) 表記・表現の工夫 別表7	裏表紙に「全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。」「見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」と記載している。 爪見出しが右ページ端に、編と章ごとに色と高さを変えて設けられ、編、章、基礎技能、実習例ページを目次から検索できるようにしている。 紙面がAB判である。写真を大きく掲載し、挿し絵とともに数多く取り上げて、学習内容をわかりやすくしている。 脚注は32個ある。また、「ひとくちQ&A」を78個設けている。

発行者名	
6 教図	9 開隆堂
教科書を見て自宅で体験・実践できる参考実習例が22事例33種類あり、そのうち調理実習に関するものが24種類ある。 「浴衣を自分で着る」を紹介している。 自分で実践できる発展的な調べ学習が10事例ある。	教科書を見て自宅で体験・実践できる参考実習例が17事例47種類あり、そのうち調理実習に関するものが40種類ある。 「ゆかたを着てみよう」「ゆかたのたたみ方」を紹介している。 自分で実践できる発展的な調べ学習が10事例ある。
発展の印のついているものが、Aに3、Bに2、Cに4、Dに3と、計12事例ある。	発展・探求の印のついているものが、Aに6、Bに10、Cに4、Dに6と、計26事例ある。
理科、保健体育との関連について、「参考」や双子のキャラクターのつぶやきの中に示している。技術分野との関連を「リンク」マークで示している。 道徳との関連についての印はない。	社会、理科、保健体育、技術分野との関連について、「リンク」マークをつけて示している。 道徳との関連については「リンク」マークをつけて示し、2つの学習内容を明記している。
裏表紙に「ユニバーサルデザインの考え方に基づいて編集されています。」と記載している。 爪見出しが右ページ端に、編と章ごとに色と高さを変えて設けられ、爪の下には章の内容を全てのページで記載している。 紙面がB5判である。本文説明があるページは、上が資料・下が本文とレイアウトが固定されている。写真や挿し絵を数多く掲載し、見てわかるように工夫している。 脚注は47個ある。	裏表紙に「色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒に見やすいように配慮してつくられています。」「CUDマーク(NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構により、認証された製品に表示できるマーク)取得見込み」と記載している。 爪見出しが右ページ上に、編ごとに色を変えて設けられ、学習内容に関連する写真を掲載している。 紙面がB5判である。写真を多く取り上げ、挿し絵と合わせて学習内容をわかりやすくしている。 脚注は62個ある。また、「豆知識」を151個記載している。